

(シラバス No.17)(専門科目(学校教育領域))

科目名	発達臨床実践特論	単位数	2単位	科目コード	B3
	Advanced Seminar on Instruction of the development child with a disability	形態	選択		
		担当教員	岩澤 一美	教職	小中高
【授業概要】					
<p>発達障害の児童生徒に対する指導方法について、WISC-IVによる特性理解やそれに基づいた指導の在り方について具体的事例を挙げながら論及する。インクルーシブ教育の構築していくための取り組みは始まったばかりだが、基本的な方向性は障害のある子どもも障害のない子どもも、できるだけ同じ場所で共に学ぶということにある。重要な概念である基礎的環境整備と合理的配慮を理解するとともに、通常学級にいる発達特性上さまざまな困難を抱える児童生徒を支援する方法について考察する。</p>					
【授業の到達目標】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 特別支援教育及びインクルーシブ教育の概念について理解する。 2. 心理教育アセスメントを通して、児童生徒の特性を把握し、それぞれに合わせた支援方法を立案することができる。 3. 児童生徒の実情を把握し、課題に即したソーシャルスキルトレーニングを行うことができる。 					
【授業計画】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 特別支援教育の理念と現状 2. インクルーシブ教育システムの構築と基礎的環境整備及び合理的配慮 3. 発達障害の特性（心理、生理、病理）と二次的障害 4. WISC-IVの概要 5. WISC-IVの指標パターンによるプロフィール分析 6. WISC-IVの指標パターンによるプロフィール別支援方法 7. 心理教育アセスメントに基づいた個別指導計画の立案方法 8. 通常学級における発達障害の子どもへの学習面での合理的配慮について 9. 通常学級における発達障害の子どもへの生活面での合理的配慮について 10. 具体的な事例分析と支援方法 11. ソーシャルスキルトレーニングの基礎理論 12. ソーシャルスキルトレーニングの実践方法 13. ソーシャルスキルトレーニングの指導案の作成 14. 保護者と教師・学校との関係調整 15. クラス担任・学校へのコンサルテーション 					
【評価方法】					
「授業内で課すレポート評価」(50%)、「科目修得試験」(50%)の割合で総合して評価する。					
【教科書】					
<p>上野一彦・松田 修・小林 玄・木下智子著『日本版 WISC-IVによる発達障害のアセスメント』（日本文化科学社、2015） 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所『LD・ADHD・高機能自閉症の子どもの指導ガイド』（東洋館出版社、2013）</p>					
【参考図書】					
<p>山口 薫 編著『新訂 Q&A と事例で読む 親と教師のための LD 相談室』（中法法規出版、2011） 岩澤一美監修『クラスが変わる！子どものソーシャルスキル指導法』（ナツメ社、2014） NPO 星槎教育研究所 編著『クラスで育てるソーシャルスキル』（日本標準、2009）</p>					